

## 日本発ウィーン便り : Weihnachtsmarkt vor dem Schloß Schönbrunn



翌日はやっぱりここへ。ウィーン郊外の Schloß Schönbrunn (シェーンブルン宮殿) のクリスマス市です。世界遺産の宮殿でのクリスマス市。規模は小さいですが、なんだか特別な感じでお気に入りです。



ここの特徴は、買い食い系のお店が充実していることでしょうか？もともと夏の離宮として造られたこの宮殿。夏の離宮＝避暑地なので、当然冬は、ウィーン市内よりもっと寒いです。2年連続で「世界一住みやすい街」に選ばれたウィーンは冬の寒さが厳しい街でもあります。



焼き栗ではなく、焼きジャガを買ってみました。暖かくてちょっと塩味が効いていて美味しいです。

焼きジャガの温もりを手に、まずは庭園へ。



落ち葉の敷き詰められた道。すごい！上手いこと集まったな～と感心していたのですが、



この人達が、あとで掃除しやすいように集めたみたいです。☺  
もちろん私はわざわざ落ち葉の上を歩いてみました。かさかさ音の楽しいじゅうたんみたいでした。



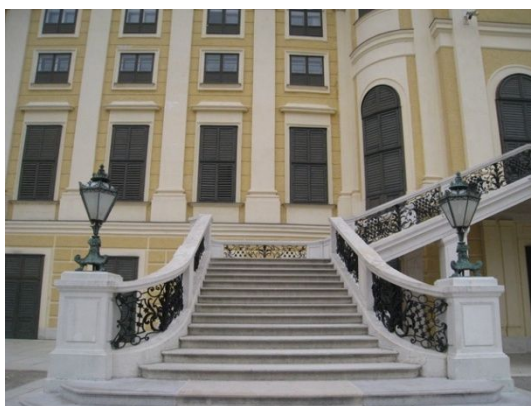
ちゃんと定点観測です。この日も霧がかかっていました。それもまた綺麗です。



冬空の宮殿。外壁のテレジアン・イエロー<sup>1</sup>がくすんで見えます。この日も一日中太陽は隠れたままでした。



丘の上には、Gloriette（グロリエット）があります。この丘の上からはウィーンの風景が一望できて素晴らしいです。久々に丘を登ってみようかと思っていましたが、あまりの寒さに挫折。代わりに宮殿正面のバルコニーに登ってみることにしました。☺



階段や床がところどころ凍っているの、滑って怖かったです…。

<sup>1</sup> もともと外壁は金を塗る予定だったそうですが、マリア・テレジアが財政状況を考慮して、金色に近い黄色にしたんだそうです。テレジアン・イエローと呼ばれますが、彼女が特に好んだ色という訳ではないそうです。私も知りませんでした。



丁度バルコニー中心のところに、マリア・テレジアさんのお部屋があるのですが、正面に Gloriette が見えるようになっています。ところで話は変わりますが、この宮殿、部屋が 1200 位あるのですが、その中で公開されているのが 2 階部分の 40 部屋位。それ以外の階にある部屋の一部は、なんとウィーンの住宅問題解決のため、1960 年代から官舎として、公務員向けの賃貸住宅として貸し出されているので、このお城には住人がいます。でもリフォームの規制とか細かくて、あんまり人気はないとか？世界遺産のお城に住むって？その発想に驚きです。日本だったら、姫路城の一部が賃貸住宅になってる。って感じですよ☺



あまりの寒さにクリスマス市に戻りました。もう体の感覚がないくらい寒かったので、Glühwein を一杯。飲むごとに体に血が通い始めたというか、氷が融けるような。Glühwein で生き返った感じです。



そんなこんなで、2011 年のクリスマスももうすぐ。

**Frohe Weihnachten! Merry Christmas!**